

磐城時報

二夕
日刊
印刷部
電話
行
所
廣告料
（日曜、祭日）休刊

江名築港第二期工事

非常な好成绩で完成

齋藤、神谷兩技師出来型検査

本縣から七分の補助を得て船舶先に完成した第一期工事の十八
緊留場修築中であつた江名町の萬圓を投じて掘鑿した二千十六
第二期築港は工費十二萬一千百坪を加算するときは港内面積三
六十五圓のうち縣費補助八萬四千八百七十坪の一大ドック式な
千圓交附を以て大正十四年六月築港が完成した譯であり港内に
五日起工の完成を急ぎつゝ、抱留し得る船舶は三十噸級を優
つた處豫定の昭和三年迄には一に三十餘隻然も安全に緊留し得
ケ年も早く竣工したので縣から事となつた、而して目下計劃
齊藤技師並に神谷技師が出張出中にある大字中の作港の改修が
來型の検査となした處非常の好實現するようにもならば縣下唯
成績なので其旨川淵知事に復命の一の漁業地である江名町の前途
する處あつたが、その工事坪數や益々發展し斯業の隆盛を見る
は一千八百五十四坪であるからに至るであらうとされて居る。

最近向上してきた

石城の婦人職業熱

生活問題を基調として 嫁入り前に仕事を覚ゆる

生活難が産み出す捨子や自殺を考へて早くも志をたてる事であ
他の惨めな問題が日に日に増える。之を證據立てるものは、裁
ててゆく昨今、昔から天恵に富む女學校が日に日に隆昌に赴き
んで、寝て居ても食ひはぐればつゝあるが之は單に裁縫を知ら
ないと言はれてゐた石城地方民なければ嫁入りは困るといふ考
も一家總動員で働らくといふ風からのみでなく、一生の生活問
題が年々共に濃厚になつて來た趣を基調として修養する風を呈
昔から多少の餘裕があれば嫁入りして來た事である、更に平町に
り準備のはか何の能事もなかつたる産婆看護婦學校入學者を見
た若い婦人達まで、今日では、磐城高等女學校を卒業し
獨立の出來る女、所謂職業婦人たもので、普通なら立派な嫁入

大越中佐自及の地に

紀念碑を建立

獨立守備隊水町司令官が 中佐の壯烈を後世に遺さん爲

石城郡白水出身大越中佐が日露開き桐谷文平氏を隊長に推し會
戰に出征し明治三十八年三月則制定後役員選舉を行った結果
七日李官堡に於て自及し殉國烈左の如く決定した。

行列中止

昨日一列の行列は石城地方に
労働組合が設けられてから始
めての日なので労働者は當日
盛大な催しを計劃してゐた
が時恰かも入山炭礦争議があ
るため平署では萬一を慮つて
メーデー行列に参加するもの
の職業、氏名、年齢を届け出
る事外十數項に亘る制限條
件があつたので、労働者側で
はその範圍内で示威行列を行
ふ事は困難であるとして當日
何等の催しをも行はなかつ

兒童研究會

發會式

平町兒童研究會發會式は三十日
午後一時平第二小學校作法室に

設備不完全な 平町共同便所

平驛前が最もひどい 近く改修に着手か

平町各要所に設けられてある其てゐた處いよ／＼八日頃舉式す
同便所は何れも不潔と不体裁の事になつた、諒閣中として裝飾
ため目も當てられぬのみか悪臭 餘興等を遠慮し來賓の招待に止
が附近一帶に漂つて始末に困る める筈である。

鎌田の心中

娼妓は死亡

既報一年若い馴染客神谷村松崎 平町白銀町一自動車乘白土利
幸太郎と猫イラズを嚙下して情 助方乗合自動車を利用し長男一
死を企てた平町字五色町鎌田遊（一九）が運轉し三十日午後七時
廓大豆樓の娼妓文江事木村かね 半頃平町二井吳服店前を進行中
（二五）は三十日午前十時遂に死 通行人平町字木村木田松太郎
亡した。

観音様の御利益を

有難がる眞木辯護士 三年越の十一面觀音像 引渡訴訟に勝つた嬉しさ

相馬郡高平村大字泉にある觀音人として訴訟中の處此程宮城控
堂の十一面觀音像は國寶に准せ訴訟に於て、大字泉部落の勝訴と
られ價格十數萬圓と言はれてゐるなり三年越の訴訟も全く解決し
るが、去る大正十二年住職葛西たので部落では堂宇を新築し目
番昌は數名と好策を案じ替玉を下國寶に指定方申請中である
造つて之を盗み出し仙臺市目黒いよが、地方裁判所へ控訴院
正治、小野又吉に二千五百圓で まで仙臺の辯護士數名を向ふに
買却した事件は福島地方裁判所 買却した事件は福島地方裁判所
佐藤検事に檢舉され犯人は何れ 眞木辯護士は觀音様の御利益
も處罰されたが、買受人は住職 眞木辯護士は觀音様の御利益
から買つたもので正當な買買だ 眞木辯護士は觀音様の御利益
と稱し大字泉部落民を相手取つ 眞木辯護士は觀音様の御利益
し引渡し訴訟を提起したが、泉 眞木辯護士は觀音様の御利益
部落民は平町眞木辯護士を代理 眞木辯護士は觀音様の御利益

丸茨炭礦の 建國自治會

來る八日頃舉式

石城郡田村井戸澤橋は去る大
正十四年八月災害復舊工事とし
て古川縣議等の盡力と國縣の補
助を受け昨年十二月竣工したが
恰、諒閣に際し開橋式を延引し

井戸澤橋開通

石城郡田村井戸澤橋は去る大
正十四年八月災害復舊工事とし
て古川縣議等の盡力と國縣の補
助を受け昨年十二月竣工したが
恰、諒閣に際し開橋式を延引し

自動車が 通行人を轢く

平町白銀町一自動車乘白土利
助方乗合自動車を利用し長男一
死を企てた平町字五色町鎌田遊（一九）が運轉し三十日午後七時
廓大豆樓の娼妓文江事木村かね 半頃平町二井吳服店前を進行中
（二五）は三十日午前十時遂に死 通行人平町字木村木田松太郎
亡した。

手の長い坑夫 赤井 條がない

負傷せしめたのみで生命には別
條がない。

観音様の御利益を

相馬郡高平村大字泉にある觀音人として訴訟中の處此程宮城控
堂の十一面觀音像は國寶に准せ訴訟に於て、大字泉部落の勝訴と
られ價格十數萬圓と言はれてゐるなり三年越の訴訟も全く解決し
るが、去る大正十二年住職葛西たので部落では堂宇を新築し目
番昌は數名と好策を案じ替玉を下國寶に指定方申請中である
造つて之を盗み出し仙臺市目黒いよが、地方裁判所へ控訴院
正治、小野又吉に二千五百圓で まで仙臺の辯護士數名を向ふに
買却した事件は福島地方裁判所 買却した事件は福島地方裁判所
佐藤検事に檢舉され犯人は何れ 眞木辯護士は觀音様の御利益
も處罰されたが、買受人は住職 眞木辯護士は觀音様の御利益
から買つたもので正當な買買だ 眞木辯護士は觀音様の御利益
と稱し大字泉部落民を相手取つ 眞木辯護士は觀音様の御利益
し引渡し訴訟を提起したが、泉 眞木辯護士は觀音様の御利益
部落民は平町眞木辯護士を代理 眞木辯護士は觀音様の御利益

今より一千年前徳一上人の作
で身長八尺余白檀の化石で金
の裝飾ある寶物である。

藝妓逃走 四倉町新町 忠臣家小林泰次郎方抱藝妓安兵衛...

全國町村長會 宣言書(二)

教育は一國文化の根源にしてこれを荷もすべからざるは固よりなりと雖も、國各々其文化異り地方亦各其情勢を異す...

大塚支店

警備の平田町七〇二 製靴部 運道具部 編輯日記 馬村 (二日)

心せよのくまの薬 鎮咳祛痰 治癒の如く 呼吸器科 肺病 咳嗽 痰多...

特約店 平町四丁目 内藥局 電話四〇番

小店員募集 尋常小學六年修業若クハ高等二年修業程度ノ者十五才未滿履歴書本人持參ノ事

正札堂 寒暖計 體温計 各種 イマツ蠅取粉 西村屋藥局

婦人病の血道 妙藥 スポニシ 加藤丈夫營業所

神戶海上運送火災保險會社 東洋海上火災保險會社 共保生命保險株式會社 平代理店

支那六神丸 復方チアスタール錠 大販賣店 山野邊藥局

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒 粟守酒 栗守酒特約店 大平屋藥店

油と味の旨 山崎合名會社 東京支店 電話下谷五七二番